

地方民紀行鉄

和歌山電鐵株式会社



由緒ある三社巡る一日
色とりどりの電車と、
社員として働く猫たちが、
参拝の道をつないでくれる

「三社参り」という風習があるという。親子三代で一緒に神社をお参りするという意味と、三つの社にお参りするという意味がある。和歌山県にある日前神宮・國懸神宮、竈山神社、伊太祁曾神社をお参りすることは、後者の「三社参り」の意味になる。その三社、すべてがあるのが、和歌山電鐵貴志川線沿線。というわけで、御朱印帳の準備よし、三社参りに出発。

写真を撮らずにいられない

和歌山電鐵貴志川線の和歌山駅改札はJR和歌山駅の構内にある。普通乗車券はJRの改札脇の券売機で購入できるけれど、一日乗車券は和歌山電鐵の改札での販売。JRの駅員さんに声を掛け、JRの改札を通過させてもらうことになる。乗車券なしの状態は落ち着かない。足早に和歌山電鐵の改札に向かい、一日乗車券を入手して一安心。

ホームに出ると真っ赤な電車が停車中。カラフルな座席シートに木製の吊り輪、カプセルトイの販売機やおもちゃを飾ったケースも置かれた「おもちゃ電車」だ。観光客なら写真を撮らずにいられない。ワイワイと写真や動画を撮影している観光客と、平坦と座っている地元利用者らしき乗客の割合は、7対3くらいで観光客が優勢。観光客のほとんどは、どうやら中国語圏からのお客さま。

中国語が飛び交う賑やかな車内撮影会が落ち着いた頃、電車が出発。予想より速いスピードで住宅街を走り抜けていく。最初の降車駅は日前神宮・國懸神宮最寄りの日前宮

駅。和歌山駅からはたった2駅目、あつという間に到着する。

思わぬところで

観光客の皆さんの乗車目的は「三社参り」ではなかったようで、日前宮駅での降車客は他になし。目指す日前神宮・國懸神宮は駅から住宅地を歩いて1分足らず、一つの境内に隣り合って建っている。摂社、末社も複数あるけれど、地域の中で最も位の高い神社「二之宮」とされているだけあって、境内は広々。

左右を学校に挟まれているのに、生い茂った木々が壁になっているのか騒々しさはなく、行き交う参拝者の静かな気配が心地よい。

ゆっくり参拝を済ませ、御朱印を受け取って駅に戻る。次の2社目の竈山神社最寄りの竈山駅は、日前宮駅の次の次。歩こうかなとも思っただけれど、タイミングよく電車が到着。今度は列車を擬人化したアニメ・チャギントンのラッピング電車で揺られて竈山駅まで。

案内表示によれば、駅から竈山神社までは、住宅地を抜けて行くルートが歩きやすく、お薦めだというが、車道沿いを歩く一本道もある。歩きやすさより、早く迷わず行けそうな一本道を選んで進むと、確かに車道沿いの道は歩道が狭い上、車通りも多くて歩きにくい。「お薦めには従っておくべきだったかな」と感じ始めた頃、木々に覆われた竈山神社が見えてくる。

竈山神社に祀られているのは、神武天皇の兄、彦五瀬命。本殿の背後には、戦で傷つき崩御された彦五瀬命の陵墓もある。皇室に連

和歌山電鐵貴志川線

【わかやまんでんてつきしがわせん】

和歌山駅から貴志駅を約30分で結ぶ。沿線には日前神宮・國懸神宮、竈山神社、伊太祁曾神社の三社があり、伊太祈曾駅、貴志駅に勤務する猫駅長たちが観光客に人気。



神社の名前としては「日前神宮」。駅名では「日前宮」と読む



どの電車も写真を撮らずにいられない、可愛さ面白さ



伊太祁曽神社の鳥居は木製。伊太祈曽駅には「よんたま」駅長が勤務。猫駅長に会いに行くには、公休日に注意

龜山神社の社務所には、和歌山電鐵の猫社員カレンダーが

日祈神宮・國懸神宮と同じく一之宮とされている伊太祁曽神社の祭神は、五十猛命。日本に樹木を植えて回った神さまだという。そうした由緒に関連してか、鳥居は石造りではなく木製。本殿なども他の2社より木材を多く使っているような印象を受ける。チェーンソーで彫刻された木製の干支が飾られているもの面白い。『古事記』の記述にちなみ、厄除けのご利益があるという「木俣くぐり」にも忘れずに挑戦。最後に「紀州 木乃神」と

伊太祈曽駅は、ニタマ駅長の後輩・よんたま駅長の勤務駅。ところが本日、よんたま駅長は公休日で駅長室は空っぽ。残念だけれど仕方がない、駅を出て伊太祁曽神社に向かう。

最後の一社は「木乃神」

参拝後、嬉しくなった気分のままに、今度こそ沿線歩いてみる。線路から付かず離れずの川沿いの道は、周囲に高い建物もなく開放感たっぷり。いくらでも歩けそうに思えるけれど、三社参りの最後の一つ、伊太祁曽神社のある伊太祈曽駅は龜山駅の4駅先。さすがに歩き通すには距離があるので、2駅歩いて岡崎前駅から電車で移動。

なる方が眠る場所は人の気配もなく、足音が気になるほど、ひたすら静か。人を探して社務所をのぞくと、ガラス越しに猫の写真？よく見れば、写真は和歌山電鐵の猫社員カレンダー。写っているのは多分、ニタマ駅長だ。思わぬところで見つけた姿に、何だかちょっとホッとして、嬉しくなる。

記された御朱印をいただいて、「三社参り」は無事終了。

ニタマ駅長のお薦めは？

伊太祈曽駅に戻り、ニタマ駅長がいる貴志駅行きの電車を待っていると、やって来たのは猫耳とひげの生えた「たま電車」。2015年に名誉永久駅長になった「たま」のイラストやモチーフに溢れた電車は車外も車内も猫づくし。あれこれ写真を撮るうちにあつという間に貴志駅到着。ホームに降りると、入れ替わるように待っていた人たちが乗り込み、撮影会は途切れなく続く。「たま電車」は大人気だ。

一方、下車した人々が向かう先にはニタマ駅長…のお尻？ ガラス張りの部屋の中、のぞき込む人々にモフモフしたお尻を向けてお休み中。顔を上げたかと思うと、すぐまた伏せてしまふ、つれない駅長。しつこくするのも失礼なので、ほどほどにしてホームに戻る。目的は、ホームにある、たま駅長を祀った神社。大明神になった、たま駅長にご挨拶の参拝。

さて、帰りにもう一度「たま電車」に乗るためには、あと1時間半ほど時間がある。貴志駅周辺で何をしようか。とりあえず、再びニタマ駅長の元に行くと、たま大明神のご利益か、なんと駅長が起きている。のぞき込んで顔を背けず、こちらを見返し、撮影にも応じてくれる。

ねえ駅長、貴志駅周辺のお薦めスポットはどこですか？



たま神社は貴志駅ホームにある。起きてくれた「ニタマ駅長」。たま大明神のご指導？



たま電車は特に大人気。運行時間はホームページでも調べられる